

令和7年12月9日

各 位

因島技術センター運営協議会
会 長 高田光紀



令和7年度因島技術センター配管舾装初級専門技能研修の研修生募集について（通知）

初冬の候、貴社益々御清栄のこととお慶び申し上げます。また平素より、当運営協議会の事業推進に対しまして、格別の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年度も技術の伝承・継承を目的とした、配管舾装初級専門技能研修を実施するにあたり次のとおり研修生を募集しますのでご案内いたします。

記

1. 研修期間：令和8年2月3日(火)～2月6日(金)の4日間

※ 研修生が少数の場合は2月4日(水)～2月6日(金)の3日間に変更し実施しますが、受講料の変更はありませんので予めご了承ください。

2. 研修会場：内海造船株式会社重井工場(広島県尾道市因島重井町5800番地92) 他

3. 募集人数：10名程度

4. 対象者：アーク溶接等の業務にかかる特別教育を受講している者

5. 研修費用：

区分	費用(税込)
因島技術センター運営協議会会員企業	35,000円/人
その他企業	52,500円/人

6. 申込方法：①研修委託申請書、②受講申込書に必要事項を記入の上、事務局まで送付してください。受講決定者には、後日決定通知書を送付します。なお、申込様式のデータが必要な場合は事務局までご連絡いただきか、運営協議会ホームページよりダウンロードしてください。

7. 申込期限：令和8年1月16日(金) ※期限厳守

8. その他：本研修は認定職業訓練の認定コースとなります。人材開発支援助成金（旧キャリア形成促進助成金）等の申請につきましては、最寄りの都道府県労働局（厚生労働省）へお問い合わせください。

○問合わせ/申込先○

〒722-2392 広島県尾道市因島土生町7番地4（尾道市因島総合支所しまおこし課内）

因島技術センター運営協議会事務局【担当：柏原】

TEL：0845-26-6212、FAX：0845-22-2203、Mail：insm.okoshi@city.onomichi.hiroshima.jp



令和7年度因島技術センター配管艤装初級専門技能研修実施概要

1. 研修の目的と内容について

本研修は入社1年程度の造船技能者を対象として実施し、座学では一般社団法人日本中小型造船工業会発行のテキスト及び映像教材を使用し、配管艤装の概要や、簡単な管一品の製作、サポート取り付け、配管及び合わせ管の取り付けについての基本的な知識を学びます。

また実技では、法兰ジとスリーブ継手を有するZ型の管の施工方法と、L型の合わせ管の施工方法の技能習得を目指します。

2. 研修期間について

令和8年2月3日(火)～2月6日(金) 8時30分～17時00分

※研修生が少數の場合は2月4日(水)～2月6日(金)の3日間に短縮して実施します

4. 研修会場について

内海造船株式会社重井工場(広島県尾道市因島重井町5800番地92)

※一部実技は「内海造船株式会社因島工場」で実施します(会場間の送迎は技術センターで行います)

5. 募集人数について

10名程度

6. 対象者について

アーク溶接等の業務にかかる特別教育を受講している者

7. 宿泊について

宿泊の斡旋は行いませんので、各企業又は研修生で手配をお願いします。

8. 駐車場について

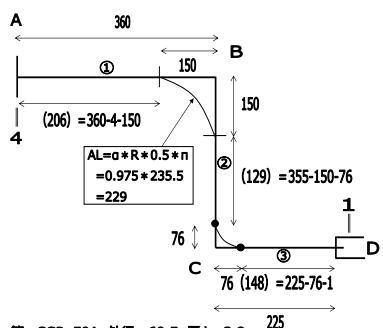
研修会場近くの駐車場を手配しますので、使用希望の方は申込書で「希望あり」としてください。
※受講決定通知書を送付する際に駐車許可証を同封します。

9. 参考(実技研修用課題)

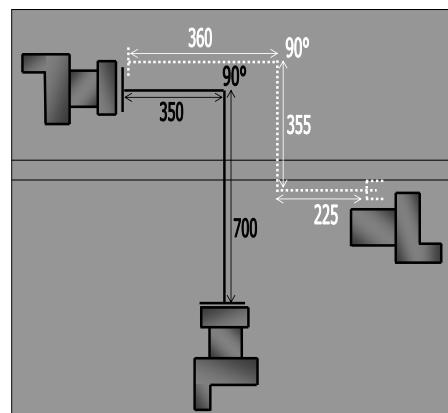
①管一品

管材規格	①	②	③
SGP	*****	SGP	
呼び径	50	*****	50
外径	60.5	*****	60.5
厚さ	3.85	*****	3.85
曲げR	150	*****	150
切断長	715	*****	715
マーキング	206	564	715
辺長さ	360	355	225

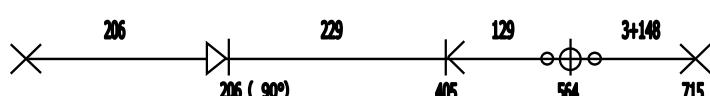
材料	径	種
抜き量	4	*****
始点金物	FL	50 5K
抜き量	0	*****
中間金物	EL	50 D:90°
抜き量	0	*****
終点金物	SL	50 ショート
抜き量	1	*****



②合わせ管



管: SGP, 50A, 外径=60.5, 厚さ=3.8
ベンダ: R=150, サクミ代=110, 曲げ代=229, 差込代=250
FLBOW: 90°, ロング, R=76
スリーブ: 長さ50, 抜き: 1



令和7年度因島技術センター配管艤装初級専門技能研修 研修生持参品

安全に作業ができる服装と保護具及びレポート作成のための筆記用具を持参してください。

1. 安全保護具

①作業服

→溶接での火花対策を考慮し、綿製のものを推奨しています

②ヘルメット

→会社名及び氏名を明記してください

③墜落防止用器具

→工場や船舶見学時に使用します

④安全靴

⑤足カバー

⑥溶接用皮手袋

→溶接・ガス切断作業などに使用するため5本指のものを持参してください

⑦保護メガネ(防塵用)

→近視メガネを使用する方はメガネ前掛けが必要です

またコンタクトレンズ着用の場合は、実習時にはメガネを使用してください

⑧耳栓

⑨塵マスク

→交換フィルター等も併せて持参してください

2. 筆記用具・その他

①シャープペンシル又は鉛筆

→芯は「B」又は「2B」のものとし、「H」又は「HB」のものは使用不可としています

②ノート

③消しゴム

④タオル



因島イメージキャラクター「はっくん」

令和7年度因島技術センター配管艤装初級専門技能研修カリキュラム(予定)

		8:30~9:30	9:30~10:30	10:30~11:00	11:00~12:00	12:00~13:00	13:00~14:00	14:00~15:00	15:00~16:00	16:00~17:00
第1日目 2月3日(火)	1班	受付・オリエンテーション 入校式(9時00分)	«座学(DVD/テキスト)» 管一品			昼休憩	【実技】 マーキング・切断		【実技】 グラインダ・曲げ・切断	研修総括 研修レポート作成
	2班									
第2日目 2月4日(水)	1班	前日の反省 本日の研修ポイント «座学» 合わせ管	【実技】 管一品組立		【実技】 管一品仮付け リグ確認	昼休憩	【実技】 合わせ管・マーキング・切断・曲げ		【実技】 合わせ管作製	研修総括 研修レポート作成
	2班		【実技】 合わせ管・マーキング・切断・曲げ		【実技】 合わせ管の作製		【実技】 管一品組立			
第3日目 2月5日(木)	1班	朝礼・準備 内海造船因島工場 へ移動	【実技】 管溶接実習			昼休憩	現場見学		溶接実習にかかる 質疑応答	研修総括 研修レポート作成
	2班									
第4日目 2月6日(金)	1班	前日の反省 【実技(復習)】 管一品作製 合わせ管作製	«座学(復習)» 管一品作製 合わせ管作製	学科試験	試験結果 研修レポート作成	昼休憩	総合評価・講評		修了式	
	2班									

- 受講する研修生が少数の場合は2月4日(水)～2月6日(金)の3日間に短縮して実施します。
- 研修カリキュラムは、研修の進行状況に応じて変更となることがあります、その際には指導員の指示に従って行動してください。

因島技術センター受託研修生受入規定

制定 平成 15 年 4 月 1 日

(趣旨)

第1条 この規定は、因島技術センター（以下「本校」という。）における受託研修生の受入れについて必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この規定において「受託研修生」とは、企業等の研修委託の申請に基づき、本校で研修生として受入れを許可された者をいう。

(申請)

第3条 企業等の長は、新規採用者、中途採用者等の研修を本校に委託しようとするときは、研修委託申請書（様式第1号）により、因島技術センター長（以下「センター長」という。）に願い出なければならない。

(許可)

第4条 センター長は、前条の願い出があったときは、本校の運営に支障がないと認められたものに限り、受託研修生として受入れを許可することができる。

(遵守義務)

第5条 受託研修生は、本校の諸規則を遵守し、センター長の指示に基づいて研修しなければならない。

(許可の取消等)

第6条 センター長は、受託研修生が前条の規定に違反し、又は受託研修生としてふさわしくない行為があった場合は、当該受託研修生の研修を停止させ、又は研修の許可を取り消すことができる。

(補則)

第7条 この規定に定めるもののほか、受託研修生に関する必要な事項は、センター長が別に定める。

附 則

この規定は、平成 15 年 4 月 1 日から施行する。